

令和 8 年 7 月 2 日
消 防 庁

「屋外貯蔵タンクの予防保全に関する調査検討会」の開催

「屋外貯蔵タンクの予防保全に関する調査検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。

本検討会は、「特定屋外貯蔵タンク内部の腐食を防止するためのコーティングに関する指針」について、新たな技術的知見等を踏まえ見直しに向けた調査検討を行います。

1 背景・目的

容量 1,000KL 以上の特定屋外貯蔵タンクについては、消防法に基づき、一定期間ごとに開放検査を実施することとされています。保安のための措置が講じられている場合には、開放検査周期を延長できる制度が設けられており、その要件の一つとして、内面からの腐食を防止する塗装（以下「コーティング」といいます。）があります。

コーティングについては、平成 6 年消防危第 74 号通知（以下「コーティングに関する指針」といいます。）により、塗料の種類、耐用年数、施工方法等が詳細に定められています。特定屋外貯蔵タンクのコーティングに関して、新たな技術や知見が蓄積されたことから、本検討会は、新たな技術知見等を整理し、コーティングに関する指針の見直しを目的とするものです。

2 検討項目

コーティングに関する指針の見直しに関する事項

3 スケジュール

令和 8 年 7 月 16 日（木）に第 1 回を開催し、以降、順次開催予定

4 委員

別紙のとおり



＜問合せ先＞

消防庁予防課危険物保安室 齋藤、滝澤、富永
TEL 03-5253-7524（直通）

「屋外貯蔵タンクの予防保全に関する調査検討会」委員

(五十音順)

岡崎 慎司 横浜国立大学大学院工学研究院 機能の創生部門 教授

熊崎 美枝子 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

辻 裕一 東京電機大学 工学部 機械工学科 特定教授

徳武 皓也 消防研究センター 技術研究部 施設等災害研究室 主任研究官

根本 雄 市原市消防局 危険物保安課 課長補佐

野村 誠一郎 苫小牧消防本部 予防室 危険物担当課長

山田 實 元 横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 客員教授